

## 第 104 回横浜市景況・経営動向調査（平成 30 年 3 月実施）（通常調査）

### 調査結果のまとめ

### 自社業況 BSI は 3.1 ポイント低下し、5 期ぶりに低下に転じる 来期も低下が見込まれている一方で、来々期は上昇する見通し

【ポイント】

- 今期（平成 30 年 1-3 月期）の自社業況 BSI（※）は▲3.3 と、前期（▲0.2）と比べて 3.1 ポイントの低下で、5 期ぶりの低下となりました。
- 業種別にみると、製造業の今期の BSI は 3.0 と、前期（7.6）から 4.6 ポイント低下しました。非製造業の BSI は▲7.8 と、前期（▲5.4）より 2.4 ポイント低下しました。
- 規模別にみると、大企業の今期の BSI は 2.0 と、前期（0.0）から 2.0 ポイント上昇しました。中堅企業の BSI は▲1.8 と、前期（3.6）から 5.4 ポイント低下しました。また、中小企業の BSI は▲5.1 と、前期（▲1.8）に比べて 3.3 ポイント低下しました。
- 先行きについてみると、3 か月先（平成 30 年 4-6 月期）の自社業況 BSI は▲4.9 で、今期より 1.6 ポイントの低下に転じる見通しとなっております。一方で、6 か月先（平成 30 年 7-10 月期）は▲2.8 と、上昇に転じる見通しとなっております。

【調査対象】 市内企業・市内に事業所を置く企業 1,000 社（回収数：574 社、回収率：57.4%）

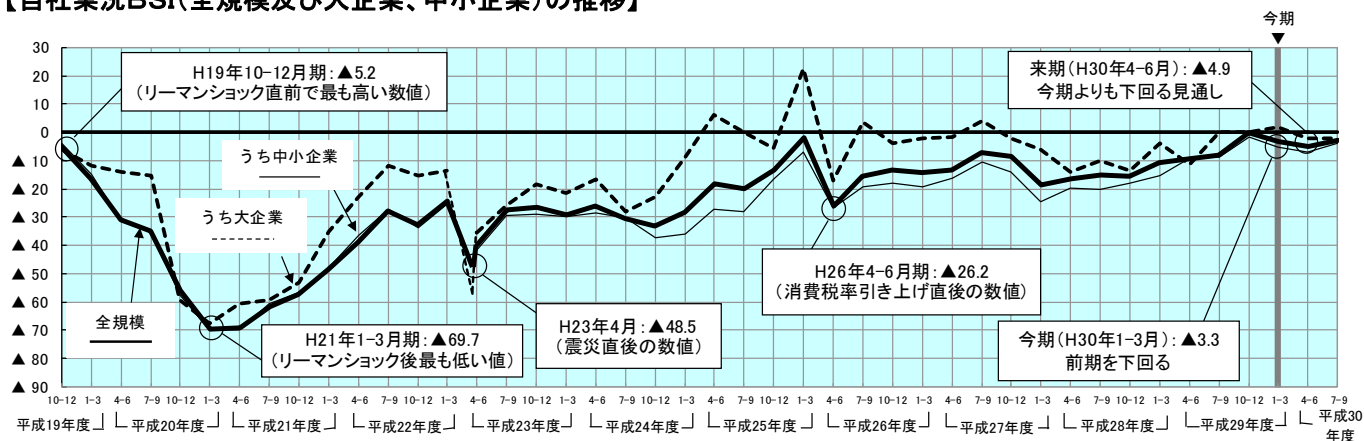
【調査時期】 平成 30 年 2 月 5 日～3 月 2 日（調査票回答及びヒアリング調査期間）

※ BSI（Business Survey Index）：自社業況 BSI は、自社業況が「良い」と回答した割合から「悪い」と回答した割合を減じた値です。

### 【通常調査の概要】

### 1 自社業況判断（自社業況 BSI：良い%－悪い%）

#### 【自社業況 BSI（全規模及び大企業、中小企業）の推移】



#### 【自社業況 BSI（業種別・規模別）の推移】

		H29年 4-6月期	H29年 7-9月期	H29年 10-12月期 (前期)	H30年 1-3月期 (今期)	今期-前期	H30年 4-6月期 (来期)	H30年 7-9月期 (来々期)
全産業		▲9.6	▲8.0	▲0.2	▲3.3	▲3.1	▲4.9	▲2.8
業種	製造業	▲6.8	▲7.4	7.6	3.0	▲4.6	▲2.1	1.2
	非製造業	▲11.6	▲8.3	▲5.4	▲7.8	▲2.4	▲6.9	▲5.8
規模	大企業	▲11.4	0.0	0.0	2.0	2.0	▲2.0	▲2.0
	中堅企業	▲11.2	▲10.1	3.6	▲1.8	▲5.4	▲1.8	▲0.9
	中小企業	▲9.0	▲8.9	▲1.8	▲5.1	▲3.3	▲6.9	▲4.0
	市外本社企業	▲9.7	▲2.5	5.8	3.1	▲2.7	3.1	3.1

（注）H30 年 4-6 月期及び H30 年 7-9 月期は見通し。

（裏面あり）

【業種別動向】(前期:平成29年10月~12月期、今期:平成30年1月~3月期、来期:平成30年4月~6月期)

業種	前期	今期	来期	ヒアリング対象企業のコメント
食料品等	6.2 (9.1)	0.0 (11.1)	7.1 (11.1)	・4月に酒税方が改正され、ビールの麦芽比率が50%に引き下げられるため、影響を見越して対応が必要。(酒類製造・販売) ・原材料費のほかに物流に関する費用が高騰し、利益を圧迫している。(食品加工)
鉄鋼・金属等	21.8 (20.0)	6.5 (4.7)	4.3 (2.4)	・季節的要因で例年この時期は在庫調整に入るところが多く、発注量が減り気味になる。(熱処理加工) ・オリンピック需要などは確かに感じるが、いつまで続くかは不透明。(精密板金加工)
一般機械	▲1.8 (▲2.4)	0.0 (▲2.4)	▲5.5 (▲4.6)	・原材料の不足が続いており、価格が上がっている。いつまでこの状況が続くのか不安。(油圧シリンダ製造) ・当面は、中国向けスマホ部品や電気自動車関連の需要が見込まれるが、3年後以降の先行きは不明。(部品加工・制作)
電機・精密等	16.2 (13.4)	20.5 (27.6)	5.1 (10.4)	・昨年度から工作機械や産業ロボットの生産が好調であり、主力製品であるワイヤーハーネスも引き続き好調をキープしている。(配線器具製造) ・中国メーカー産のスマホは、一定以上の機能の廉価品が採用されており、高機能品は厳しい状況にある。(光学機器用部品製造)
輸送用機械	11.6 (16.6)	7.4 (10.6)	▲14.8 (▲10.5)	・物流量の増加でトラック製造量は増えているので、東京オリンピックまでは安定して良い状況だろう。(自動車部分品) ・親会社が代わってから受注量が増えているが、人材確保は厳しい状況。(鉄道車両設計・製造)
建設業	14.6 (12.5)	8.7 (8.6)	▲2.2 (▲5.8)	・受注は増えているが、人材不足のため受注量調整を行っている状態。市内建設業者も概ね好況と理解している。 ・今年度の売り上げは平年の2倍。来年度は平年並みに落ち着いてくる見込み。(いずれも建設業)
運輸・倉庫業	▲13.0 (▲8.8)	▲18.6 (▲20.7)	▲13.9 (▲20.7)	・大雪の影響により若干、業況に影響あり。今後のオリンピック景気による業況の好転には期待できる見込み。(運送業) ・売上の減少が続いている。(タクシー・ハイヤー)
卸売業	▲8.2 (▲10.8)	▲3.5 (▲13.9)	▲1.7 (▲14.3)	・野菜の高騰により利益としては増加した。4月中下旬以降は平年並みになることが予想される。(青果卸) ・業界としては一年を通して好況感はなく、特に今年は10数年ぶりの大不漁の影響もあった。(水産卸)
小売業	▲29.3 (▲47.0)	▲39.6 (▲47.6)	▲25.0 (▲33.3)	・業界は好景気に見えるが、ペットやペットフードの需要は頭打ちの状態である。(ペット関連事業) ・原材料費の上昇、テナント入れ替えによる改装費などによる販売管理費の高騰などが響きマイナスとなっている。(ショッピングセンター)
飲食店・宿泊業	▲19.1 (▲31.2)	▲5.5 (▲9.1)	▲5.6 (0.0)	・バレンタインデーなどのイベント時を中心にカフェの売上は伸びる傾向。(カフェ) ・個人の利用客が少なく、客単価が上がらなかった。繁忙期を見越したりリニューアル工事を行っているところ。(ホテル)
不動産業	11.4 (7.1)	6.5 (0.0)	6.4 (11.1)	・例年に比べて極端に悪いというわけではないが、成約件数は年々下がっている。30~40代の中間層の買い手がない。 ・投資家が、収益物件への投資に慎重になっている。金融機関も融資が厳しくなっている。(いずれも不動産業)
情報サービス業	2.9 (15.4)	▲3.3 (0.0)	6.7 (22.2)	AI、センシング、無線技術など高性能なエッジデバイス開発技術の登場により、様々な分野でIoTの具体例も出てきており、業界内で好業績の企業が多いが、業界全体で人材が不足し、仕事量とこなせる人の数がマッチしていない。(システム開発)
対事業所サービス業	0.0 (▲4.8)	0.0 (▲5.3)	▲8.3 (▲15.8)	・東京一極集中の影響が大きく、市内の同業他社は厳しいという声が多い。人手不足が深刻なため、3年前に比べて2割程度時給を上げないとなかなか人材が集まらない。 ・国の働き方改革の後押しもあり、今期から来々期まで全て増加する見込み。(いずれも人材派遣)
個人サービス	▲16.0 (▲26.7)	▲4.3 (▲36.4)	▲13.0 (▲27.3)	・5年以上前からずっと低迷していたが、去年に底を打ち、ここ最近で初めて「良い」とした。全ての月で昨年比超えとなっている。また、(結婚式場) ・健康維持や医師からの助言などを理由に始める中高年の方が多く、以前に比べて退会者数は減少している。(スポーツクラブ)

※BSI=自社業況「良い」%-自社業況「悪い」%

※今期のBSI(全規模)が前期よりも10ポイント以上差がある業種については、矢印を表記している。

※表中の見方は右図の通り。

	← 天気マーク(下図参照)
▲5.8	← 全規模のBSI値
(▲22.2)	← 中小企業のBSI値

BSI	▲60.1以下	▲60.0~▲40.1	▲40.0~▲20.1	▲20.0~▲5.1	▲5.0~5.0	5.1~20.0	20.1以上
天気							

(次ページあり)

## 2 主要項目の推移

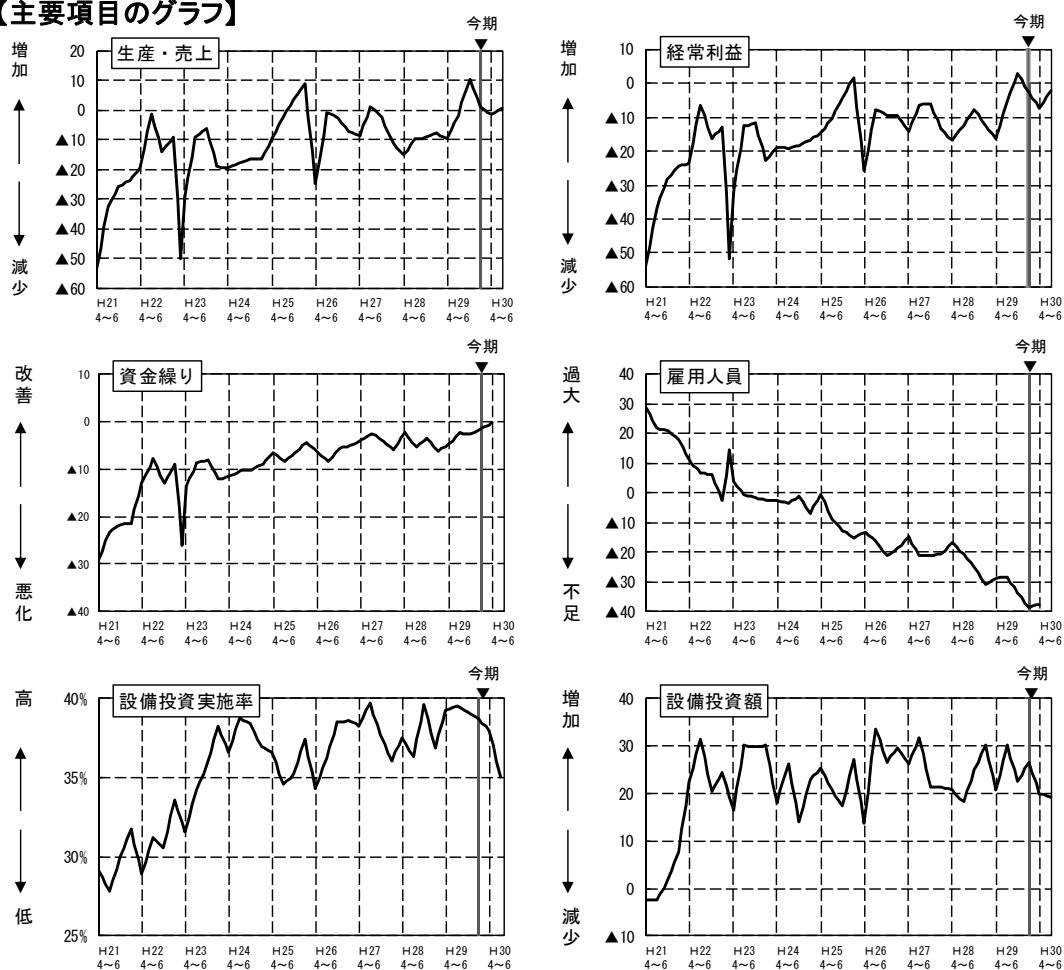
### 【主要項目(全産業)の推移】

	H29年 4-6月期	H29年 7-9月期	H29年 10-12月期 (前期)	H30年 1-3月期 (今期)	今期-前期	H30年 4-6月期 (来期)	H30年 7-9月期 (来々期)
	自社業況	▲9.6	▲8.0	▲0.2	▲3.3	▲3.1	▲4.9
(1)生産・売上	▲9.5	▲1.7	10.5	1.0	▲9.5	▲1.4	0.7
(2)経常利益	▲16.4	▲5.1	2.8	▲2.7	▲5.5	▲7.4	▲2.1
(3)資金繰り	▲4.8	▲2.4	▲2.7	▲1.5	1.2	▲0.2	
(4)雇用人員	▲28.8	▲28.4	▲33.8	▲38.7	▲4.9	▲37.5	
(5)生産・営業用設備	▲4.3	▲5.5	▲4.6	▲8.1	▲3.5	▲8.0	▲6.5

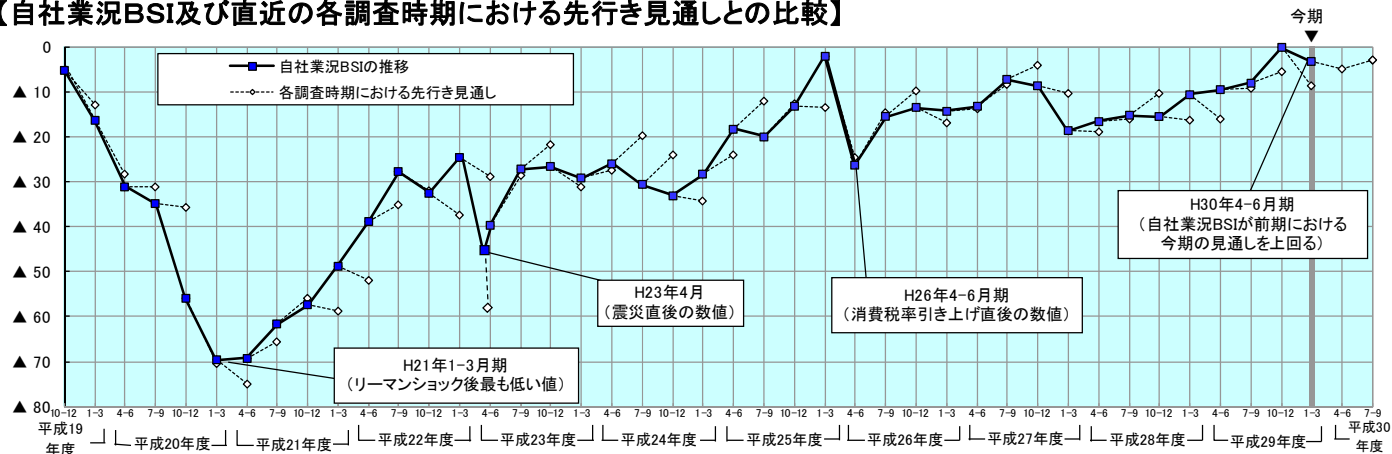
(注) H30年4-6月期及びH30年7-9月期は見通し。

(3)資金繰り及び(4)雇用人員については、H30年7-9月期の見通しは調査対象外としている。

### 【主要項目のグラフ】



### 【自社業況BSI及び直近の各調査時期における先行き見通しとの比較】



(参考資料) 自社業況BSI (業種別・規模別の推移)

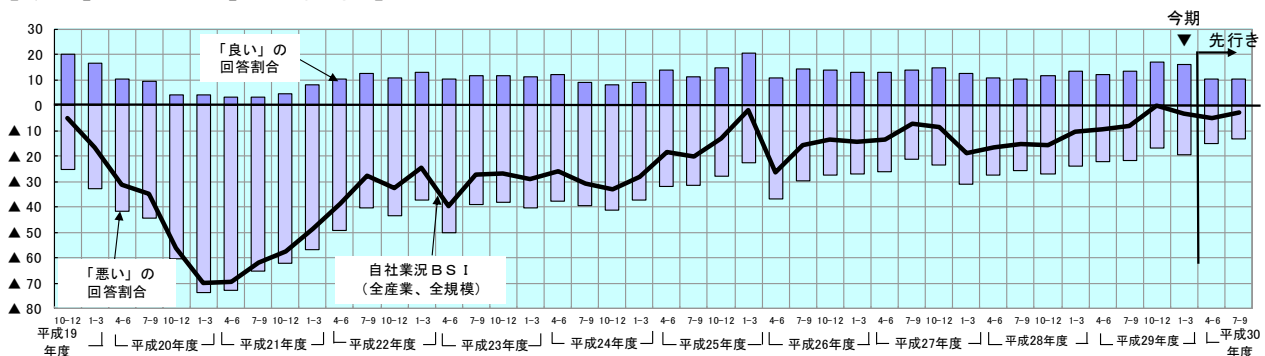
	平成29年	平成30年	1~3月の回答の割合(%)	良い	普通	悪い	平成30年	平成30年	回答
	10~12月期	1~3月期					4~6月期	7~9月期	
			今期-前期						
全産業	▲ 0.2	▲ 3.3	▲ 3.1	16.0	64.7	19.3	▲ 4.9	▲ 2.8	(※) 570
製造業	7.6	3.0	▲ 4.6	22.4	58.2	19.4	▲ 2.1	1.2	237
食料品等	6.2	0.0	▲ 6.2	14.3	71.4	14.3	7.1	14.3	14
繊維・衣服等	▲ 62.5	▲ 33.3	29.2	0.0	66.7	33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	6
印刷	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	10.0	60.0	30.0	▲ 10.0	10.0	10
石油・化学等	10.5	▲ 4.8	▲ 15.3	19.0	57.1	23.8	4.8	4.8	21
鉄鋼・金属等	21.8	6.5	▲ 15.3	23.9	58.7	17.4	4.3	10.9	46
一般機械	▲ 1.8	0.0	1.8	27.8	44.4	27.8	▲ 5.5	▲ 5.6	54
電機・精密等	16.2	20.5	4.3	25.6	69.2	5.1	5.1	2.6	39
輸送用機械	11.6	7.4	▲ 4.2	22.2	63.0	14.8	▲ 14.8	▲ 7.4	27
その他製造業	5.3	▲ 5.0	▲ 10.3	20.0	55.0	25.0	▲ 5.0	0.0	20
非製造業	▲ 5.4	▲ 7.8	▲ 2.4	11.4	69.4	19.2	▲ 6.9	▲ 5.8	333
建設業	14.6	8.7	▲ 5.9	13.0	82.6	4.3	▲ 2.2	6.5	46
運輸・倉庫業	▲ 13.0	▲ 18.6	▲ 5.6	9.3	62.8	27.9	▲ 13.9	▲ 13.9	43
卸売業	▲ 8.2	▲ 3.5	4.7	15.5	65.5	19.0	▲ 1.7	▲ 3.5	58
小売業	▲ 29.3	▲ 39.6	▲ 10.3	2.1	56.3	41.7	▲ 25.0	▲ 25.0	48
飲食店・宿泊業	▲ 19.1	▲ 5.5	13.6	16.7	61.1	22.2	▲ 5.6	▲ 11.1	18
不動産業	11.4	6.5	▲ 4.9	9.7	87.1	3.2	6.4	3.2	31
情報サービス業	2.9	▲ 3.3	▲ 6.2	10.0	76.7	13.3	6.7	13.3	30
対事業所サービス業	0.0	0.0	0.0	13.9	72.2	13.9	▲ 8.3	▲ 11.1	36
対個人サービス業	▲ 16.0	▲ 4.3	11.7	17.4	60.9	21.7	▲ 13.0	▲ 4.3	23

BSI (Business Survey Index) は、景気の強弱感を次の算式により求めている。BSI = 良い% - 悪い%

	平成29年	平成30年	1~3月の回答の割合(%)	良い	普通	悪い	平成30年	平成30年	回答
	10~12月期	1~3月期					4~6月期	7~9月期	
			今期-前期						
全産業	▲ 0.2	▲ 3.3	▲ 3.1	16.0	64.7	19.3	▲ 4.9	▲ 2.8	(※) 570
大企業	0.0	2.0	2.0	14.0	74.0	12.0	▲ 2.0	▲ 2.0	50
中堅企業	3.6	▲ 1.8	▲ 5.4	12.4	73.5	14.2	▲ 1.8	▲ 0.9	113
中小企業	▲ 1.8	▲ 5.1	▲ 3.3	17.3	60.3	22.4	▲ 6.9	▲ 4.0	375
市外本社企業	5.8	3.1	▲ 2.7	15.6	71.9	12.5	3.1	3.1	32
製造業	7.6	3.0	▲ 4.6	22.4	58.2	19.4	▲ 2.1	1.2	237
大企業	0.0	0.0	0.0	20.0	60.0	20.0	▲ 6.6	▲ 6.6	15
中堅企業	43.8	20.0	▲ 23.8	26.7	66.7	6.7	▲ 6.6	0.0	15
中小企業	5.7	2.6	▲ 3.1	23.1	56.4	20.5	▲ 1.5	2.0	195
市外本社企業	0.0	▲ 8.4	▲ 8.4	8.3	75.0	16.7	0.0	0.0	12
非製造業	▲ 5.4	▲ 7.8	▲ 2.4	11.4	69.4	19.2	▲ 6.9	▲ 5.8	333
大企業	0.0	2.8	2.8	11.4	80.0	8.6	0.0	0.0	35
中堅企業	▲ 3.2	▲ 5.1	▲ 1.9	10.2	74.5	15.3	▲ 1.0	▲ 1.0	98
中小企業	▲ 9.0	▲ 13.3	▲ 4.3	11.1	64.4	24.4	▲ 12.9	▲ 10.6	180
市外本社企業	8.7	10.0	1.3	20.0	70.0	10.0	5.0	5.0	20

(※) 回収数 (574件) のうち、無回答数 (4件) を除いた値。

【「良い」及び「悪い」の回答割合】



◎報告書掲載 URL <http://www.city.yokohama.lg.jp/keizai/happyou/keikyureport.html> (掲載予定日: 3月27日)

お問合せ先		
経済局経済企画課長	高橋 功	Tel 045-671-2565
横浜商工会議所企画広報部長	福田 政也	Tel 045-671-7434